

サーフィンを活用した地域振興に関する基礎的研究
/千葉県長生郡一宮町を対象地として/
Basic research in local promotion by surfing
-A target place is Ichinomiya-machi, Chosei-gun, Chiba.-

○小林圭吾¹, 山本和清², 近藤健雄³, 宮崎渉⁴

*Keigo Kobayashi, Kazukiyo Yamamoto, Takeo Kondou, Wataru Miyazaki

Abstract: In coastal areas, many municipalities suffer from population reduction problems, Ichinomiya-cho has succeeded in increasing population. Such Ichinomiya Town is now famous as the city of surfing. In this research, I will study the relationship between Ichinomiya Town and surfing and clarify the influence that surfing gave to the city. Survey methods were literature survey, questionnaire survey and interview survey. As a result of survey, it turned out that the influence of surfing was very large. The factor of population increase is over 75% and surfing is answered. It was also revealed that the town has been revitalized as surfers began to increase. Factors that surfers are increasing include access from the central area, cheap land, good living environment.

1. 研究背景

2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響で沿岸地域はとて大きな被害が出た。その影響もあり沿岸地域では震災後人口減少が大きく進んでいる。最も被害が大きかった宮城県では、県の調査で、東日本大震災前と比較して1万人以上人口が減少している。また、実際には津波の被害を受けていない地域でも津波に対するネガティブなイメージから人口減少が進行していて、多くの自治体が悩まされている。そんな中、千葉県長生郡一宮町では1970年以降一貫して人口が増加し続けている。1970年に9,929人だった町の人口は2010年には12,042人になっており、40年間で約2,000人の人口増加に成功している。そんな一宮町は日本屈指のサーフポイントがいくつもあり、一年を通して全国から多くのサーファーが訪れるサーフタウンとして有名な町である。最近では、2016年、2017年に国内最大級のサーフイベントWSL-QS6000が開催された。また、2020年に開催される東京オリンピックのサーフィン競技の会場としても決定しており、今後、更にサーファーの注目が集まることが予測される。一宮町も「一宮版サーフォノミクス」や「サーフィンと生きる町。ICHINOMIYA」などサーファー誘致の取り組みを行っている。

2. 研究目的

人口増加町村である一宮町を対象として、地域の特徴であるサーフィンと町との関係性を調査し、サーフィンが一宮町の地域に与えている影響を明確にする。沿岸地域の人口減少問題を解消するために一宮町が人

口減少に至らなかった理由を明確にすることを本研究での目的とする。

3. 研究方法

3-1. 調査対象地

千葉県長生郡一宮町を対象地とする。東日本の沿岸域の中で最も人口増加に成功している地域である。

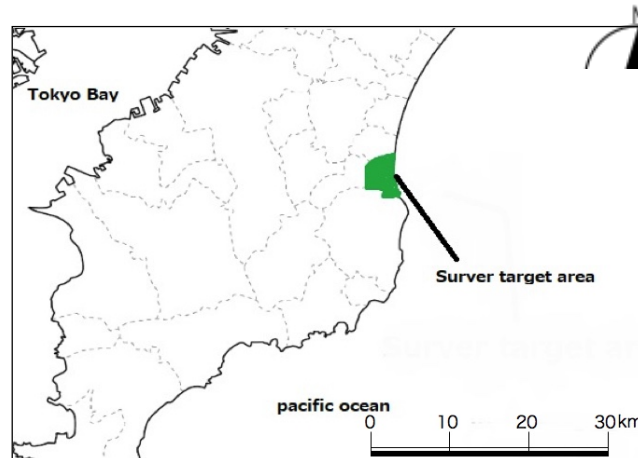


Figure 1. Surfer target area

3-2. 調査概要

文献調査では、一宮町の町の歴史を調査し、地図やデータから歴史の変化を読み取り、サーフィン文化が根付く以前とサーファーが多くなり始めた現在との比較を行うことでサーフィンが町に与えた影響を把握する。ヒアリング調査では、実際に長く町を見てきた住民に話を聞き、文献上のデータと実際の町の様子との差を把握する。アンケート調査では、転入者を対象としてアンケートを行う。転入理由を調査することで一宮町の人口増加要因を明らかにする。

1：日大理工・学部・海建 2：日大理工・教員・海建 3：日大名誉教授 4：日大工・教員・建築

Table 1. Investigation Overview

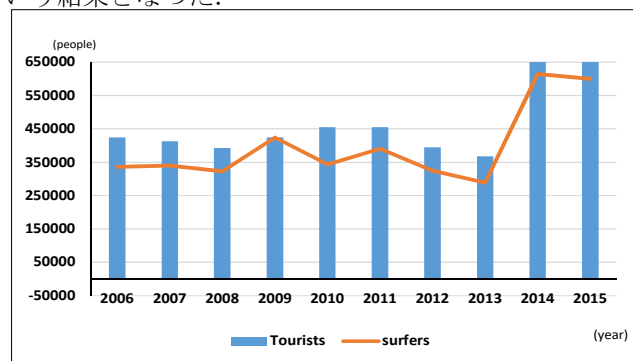
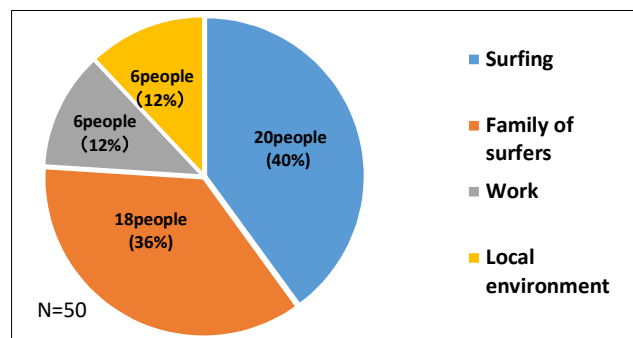
Surver target area	Ichinomiya-cho,tyouseigun,Chiba-ken
Investigation day	2017.8/25,9/18,9/25
Investigation method	Literature search
	Interview
	Questionnaire
Survey response rate	Number of distribution:r:50
	Number of collection :50
Contentsofthe questionnaire	Age, Migration period, Reason for migration, Impressions of the city

4. 調査結果

ヒアリング調査は 20 年以上前からあるサーフショップ、飲食店、不動産店などに勤務している住民 20 人を対象に行った。一宮町にサーフィンが伝わったのは 1960 年代と言われており、サーファーの人数は少ないものの、古くから一宮にはサーファーが存在していた。話を聞いている中で全員が共通していたのはサーファーが増え始めた時期で、ここ約 5 年間で急激に増加し始めたとのことだった (Figure 2)。住民が感じる人口増加要因は 20 人中 20 人がサーフィンとなり、また、20 人中 18 人の住民が、今後もサーファー客が増加していくことを望んでいる結果となった。その理由として「店の売り上げがよくなる」「サーファーが経営者のお店が増え町がおしゃれになってきている」などの意見があった。サーファー人口が増加し始めた要因には「都内へのアクセスの良さ」「土地の安さ」が挙げられた。最寄り駅である上総一ノ宮駅は、特急わかしおの停車駅にもなっており、東京まで特急で 60 分、快速で 90 分となっている。また、圏央道の開通もあり、車でも約 90 分で東京まで行くことが可能である。土地の価格は、一宮と同じ沿岸地域で東京からの所要時間 1 時間圏内である湘南と比べても 1/15 程度の土地価格となっている。サーファー人口が増加し始めたことにより、町はサーフストリートの形成や駐車場の整備。無料トイレの設置。サーフィン大会を活用したイベントの開催など、サーファー誘致の取り組みを積極的に始めている。人口の変動に関しては、文献調査で町の人口が 1970 年から一貫して増加し続けているデータがあるが、住民 20 人中 15 人から「実際は震災直後、住民も近隣地域に避難していた状況だった」との回答があった。

また、アンケート調査では一宮町に転入してきた理由として「サーフィンのために転入」の回答が最も多く、全体の 40% という結果になった。また、2 番目に多かったのは「サーファーの同伴者」となり、18 人で全体の 36%。サーフィンに関係しないその他の回答では「仕事」「地域環境」という回答がそれぞれ 6 人ずつ

で全体の 24% という結果になった。以上のアンケート結果を Figure 3 に示す。「転入してどのくらいか」の設問では「1 週間」「4 ヶ月」「5 ヶ月」が 1 人ずつで「1 年」が 3 人、「5 年」が 12 人、「7 年」が 3 人、「8 年」が 7 人、「9 年」が 4 人となり、「10 年以上」は 19 人という結果となった。

**Figure 2.** Surfer population Reason for migration**Figure 3.** Reason for migration

5. まとめ

地域人口増加に重要な転入者の転入理由には「サーフィンのために転入」という回答が多く、また、サーファーの転入者は家族での移住となることが多い為、サーフィン関係だけで全体の 76% を占めており、人口増加の大きな要因はサーフィンであると考えられる。サーファーが集中する理由としては、土地の安さ、都心からのアクセスの良さが挙げられる。サーフィンが町に与えている影響としては人口増加だけではなく、観光入り込客数の増加にも貢献している。サーファーが増加したことにより、飲食店や宿泊施設、貸家、ショップの経営がしやすい環境となり、また、サーファーが経営者のカフェなどの出店が増えたことで、サーファー以外の観光客が訪れても魅力的に感じる町に変化してきている。今後、地域環境が類似し人口減少している地域と一宮町との比較を行い、一宮の人口増加要因を具体的に把握する。

【参考文献】

- [1]一宮町づくり推進課：「一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略」, 平成 27 年 10 月
- [2]一宮町：「一宮の魅力ある海岸づくり会議」, No.1-11, 平成 22 年 6 月
- [3]一宮町：「一宮町新世代サーフタウン地域再生計画」, 平成 28 年 3 月
- [4]一宮町：「サーフィンと生きる町。ICHINOMIYA」, URL : <http://ichinomiya-surftown.jp>
- [5]一宮町観光協会：「一宮日和」, URL : <http://ichinomiya.org/>